



平成 25 年 12 月 10 日

各 位

会 社 名 川田テクノロジーズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 川田 忠裕  
(コード番号 3443 東証第 1 部)  
問合せ先 経理部長 宮田 謙作  
(TEL. 03-3915-7632)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 12 月 2 日付の当社適時開示「過年度決算修正による見込みの概要および決算発表予定日について」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 25 年 2 月 8 日付「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線  を付して表示しています。

以 上

【訂正後】



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東大  
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川田 忠裕  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)渡邊 敏 TEL 03-3915-7722  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	65,473	11.8	909	—	207	—	93	—
24年3月期第3四半期	58,561	△21.0	65	△97.6	△477	—	△429	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 136百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △197百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	16.38	—
24年3月期第3四半期	△75.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	97,246	28,418	29.0
24年3月期	93,748	28,442	30.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 28,231百万円 24年3月期 28,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	30.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	10.3	700	6.1	0	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期3Q	5,781,070株	24年3月期	5,781,070株
25年3月期3Q	82,344株	24年3月期	82,068株
25年3月期3Q	5,698,832株	24年3月期3Q	5,699,213株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
	(4) 追加情報	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記	8
	(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
	(5) セグメント情報等	8
4.	補足情報	10
	受注、販売及び繰越高の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要等に下支えされ緩やかな回復基調を示したものの、長引く円高や海外経済の減速等の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続きました。しかしながら、12月の政権交代を契機に円高是正や株式市場も持ち直しの動きを見せるなど、景気回復への期待感が高まっています。

建設業界につきましては、上期の公共工事の需要は低調であったものの、下期に入ってから公共工事の発注も順調に推移し、国内橋梁の発注量は前年度並みになる見込みであります。しかしながら、受注競争の厳しさは変わることなく、受注量の確保と収益性の改善について予断を許さない状況が続いています。民間工事についても、需要は比較的堅調に推移しているものの、受注競争の緩和には至っておらず、労務費や資機材の上昇等もあって、厳しい経営環境は続いています。

このような状況のもと、当社グループの第3四半期連結累計期間における業績は、受注高は53,522百万円（前年同四半期比8.5%減）、売上高は65,473百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。

収益面につきましては、営業利益は909百万円（前年同四半期は営業利益65百万円）、経常利益207百万円（前年同四半期は経常損失477百万円）、四半期純利益93百万円（前年同四半期は四半期純損失429百万円）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

## （鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、売上高は32,566百万円（前年同四半期比2.1%増）と前年度と比較しますと僅かに増加しました。収益面では、建築鉄骨における工事量の減少や厳しい価格競争を背景に工事の採算性が低下したことにより、営業利益は964百万円（前年同四半期比32.5%減）の計上となりました。

## （土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、PC橋梁工事の施工が順調に進捗したことから、売上高は17,477百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。収益面では、徹底したコスト削減対策により、営業利益は136百万円（前年同四半期は営業損失26百万円）と採算を確保することができました。

## （建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、大型物件を中心に工事の施工が順調に推移したことで、売上高は10,573百万円（前年同四半期比40.9%増）となりました。収益面では、売上高の増加に加え、事業採算の改善に向けコスト削減に努めた結果、営業利益は245百万円（前年同四半期比39.8%増）となりました。

## （その他）

その他におきましては、売上高は6,066百万円（前年同四半期比24.4%増）となりました。収益面では、橋梁用伸縮装置の売上高増加が寄与したこと、及び連結各社において採算性の改善に努めた結果、営業利益は252百万円（前年同四半期は営業損失514百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間における「資産の部」は、97,246百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,497百万円増加しました。これは主に民間発注の大型物件の工事が進捗し、売上債権が4,207百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、68,828百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,521百万円増加しました。これは主に大型工事物件の出来高払の増加などにより借入金が4,782百万円増加したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は28,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少しました。これは主に配当を170百万円実施した結果、利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の30.2%から29.0%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成24年8月9日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

## (表示方法の変更)

前第3四半期連結累計期間において、「特別利益」の「その他」に含めていた「災害損失引当金戻入額」及び「特別損失」の「その他」に含めていた「ゴルフ会員権評価損」は、特別利益及び特別損失の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っています。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「特別利益」の「その他」に表示していた63百万円は、「災害損失引当金戻入額」34百万円、「その他」28百万円に、また「特別損失」の「その他」に表示していた26百万円は、「ゴルフ会員権評価損」5百万円、「その他」21百万円に組み替えています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	6,362	6,101
受取手形・完成工事未収入金等	33,043	37,250
未成工事支出金	696	1,385
その他のたな卸資産	646	765
繰延税金資産	17	3
その他	2,250	1,754
貸倒引当金	△217	△12
流動資産合計	42,799	47,249
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物（純額）	5,160	5,058
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,460	1,438
航空機（純額）	1,512	1,325
土地	16,985	16,964
リース資産（純額）	2,543	2,216
建設仮勘定	27	55
有形固定資産合計	27,690	27,059
<b>無形固定資産</b>	880	824
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	882	831
関係会社株式	19,277	19,351
長期貸付金	526	514
その他	2,379	2,223
貸倒引当金	△703	△816
投資その他の資産合計	22,362	22,104
固定資産合計	50,933	49,988
<b>繰延資産</b>		
創立費	15	9
繰延資産合計	15	9
資産合計	93,748	97,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	20,517	21,522
短期借入金	7,765	13,978
1年内返済予定の長期借入金	6,168	6,032
1年内償還予定の社債	160	210
未払法人税等	78	81
未成工事受入金	3,343	2,949
賞与引当金	792	354
完成工事補償引当金	94	78
工事損失引当金	2,403	1,569
損害補償損失引当金	808	789
資産除去債務	5	5
その他	3,313	2,752
流動負債合計	45,453	50,324
固定負債		
社債	275	610
長期借入金	11,557	10,263
繰延税金負債	45	28
再評価に係る繰延税金負債	1,948	1,942
退職給付引当金	3,207	3,209
役員退職慰労引当金	254	283
事業構造改善引当金	40	—
資産除去債務	142	148
負ののれん	287	272
その他	2,096	1,745
固定負債合計	19,853	18,504
負債合計	65,306	68,828
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,771	12,705
自己株式	△276	△277
株主資本合計	27,863	27,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	65
土地再評価差額金	394	383
為替換算調整勘定	△80	△14
その他の包括利益累計額合計	414	434
少数株主持分	164	187
純資産合計	28,442	28,418
負債純資産合計	93,748	97,246



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	58,561	65,473
売上原価	53,975	60,324
売上総利益	4,585	5,148
販売費及び一般管理費	4,519	4,238
営業利益	65	909
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	41	30
受取賃貸料	171	146
負ののれん償却額	15	15
持分法による投資利益	—	23
貸倒引当金戻入額	330	1
その他	114	81
営業外収益合計	683	307
営業外費用		
支払利息	624	599
賃貸費用	383	366
持分法による投資損失	141	—
その他	77	43
営業外費用合計	1,226	1,009
経常利益又は経常損失(△)	△477	207
特別利益		
固定資産売却益	—	3
保険差益	367	2
災害損失引当金戻入額	34	7
事業構造改善引当金戻入額	—	10
その他	28	10
特別利益合計	430	34
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	20	7
投資有価証券評価損	5	—
災害による損失	81	—
ゴルフ会員権評価損	5	13
たな卸資産評価損	43	—
その他	21	10
特別損失合計	178	31
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△225	211
法人税、住民税及び事業税	71	85
法人税等調整額	169	9
法人税等合計	240	94
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△466	116
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△37	23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△429	93

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△466</u>	<u>116</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	△36
土地再評価差額金	264	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	<u>36</u>	<u>67</u>
その他の包括利益合計	<u>268</u>	<u>19</u>
四半期包括利益	<u>△197</u>	<u>136</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△157</u>	<u>113</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△39	23

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	31,309	15,117	7,499	53,926	4,634	58,561
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	594	274	2	872	242	1,115
計	31,904	15,392	7,502	54,799	4,877	59,676
セグメント利益又は損失(△)	1,428	△26	175	1,577	△514	1,063

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,577
「その他」の区分の損失(△)	△514
セグメント間取引消去	105
全社費用(注)	△1,202
その他の調整額	99
四半期連結損益計算書の営業利益	65

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	31,874	17,324	10,556	59,755	5,717	65,473
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	692	152	16	861	348	1,210
計	32,566	17,477	10,573	60,616	6,066	66,683
セグメント利益	964	136	245	1,345	252	1,598

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,345
「その他」の区分の利益	252
セグメント間取引消去	114
全社費用(注)	△879
その他の調整額	76
四半期連結損益計算書の営業利益	909

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	24,770	42.3	26,061	48.7	1,291	5.2
土木	20,781	35.5	8,563	16.0	△12,218	△58.8
建築	7,356	12.6	12,027	22.5	4,670	63.5
その他	5,602	9.6	6,869	12.8	1,267	22.6
合計	58,510	100.0	53,522	100.0	△4,987	△8.5

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	31,904	53.4	32,566	48.8	662	2.1
土木	15,392	25.8	17,477	26.2	2,084	13.5
建築	7,502	12.6	10,573	15.9	3,070	40.9
その他	4,877	8.2	6,066	9.1	1,189	24.4
合計	59,676	100.0	66,683	100.0	7,007	11.7

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間末 (平成23年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成24年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	34,892	49.7	38,150	56.0	3,258	9.3
土木	27,171	38.7	20,400	29.9	△6,771	△24.9
建築	6,639	9.5	8,042	11.8	1,403	21.1
その他	1,483	2.1	1,578	2.3	94	6.3
合計	70,187	100.0	68,171	100.0	△2,016	2.9

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。

【訂正前】



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東大  
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川田 忠裕  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)渡邊 敏 TEL 03-3915-7722  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	65,473	11.8	909	—	△61	—	△176	—
24年3月期第3四半期	58,561	△21.0	65	△97.6	△362	—	△412	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △199百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △205百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△30.93	—
24年3月期第3四半期	△72.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	96,619	27,423	28.2
24年3月期	93,473	27,782	29.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 27,267百万円 24年3月期 27,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	30.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	10.3	700	6.1	0	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期3Q	5,781,070株	24年3月期	5,781,070株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	82,344株	24年3月期	82,068株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期3Q	5,698,832株	24年3月期3Q	5,699,213株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
	(4) 追加情報 .....	3
3.	四半期連結財務諸表 .....	4
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間 .....	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間 .....	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
	(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
	(5) セグメント情報等 .....	8
4.	補足情報 .....	10
	受注、販売及び繰越高の状況 .....	10



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要等に下支えされ緩やかな回復基調を示したものの、長引く円高や海外経済の減速等の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続きました。しかしながら、12月の政権交代を契機に円高是正や株式市場も持ち直しの動きを見せるなど、景気回復への期待感が高まっています。

建設業界につきましては、上期の公共工場の需要は低調であったものの、下期に入ってから公共工場の発注も順調に推移し、国内橋梁の発注量は前年度並みになる見込みであります。しかしながら、受注競争の厳しさは変わることなく、受注量の確保と収益性の改善について予断を許さない状況が続いています。民間工事についても、需要は比較的堅調に推移しているものの、受注競争の緩和には至っておらず、労務費や資機材の上昇等もあって、厳しい経営環境は続いています。

このような状況のもと、当社グループの第3四半期連結累計期間における業績は、受注高は53,522百万円（前年同四半期比8.5%減）、売上高は65,473百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。

収益面につきましては、営業利益は909百万円（前年同四半期は営業利益65百万円）、経常損失61百万円（前年同四半期は経常損失362百万円）、四半期純損失176百万円（前年同四半期は四半期純損失412百万円）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

## （鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、売上高は32,566百万円（前年同四半期比2.1%増）と前年度と比較しますと僅かに増加しました。収益面では、建築鉄骨における工事量の減少や厳しい価格競争を背景に工事の採算性が低下したことにより、営業利益は964百万円（前年同四半期比32.5%減）の計上となりました。

## （土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、PC橋梁工事の施工が順調に進捗したことから、売上高は17,477百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。収益面では、徹底したコスト削減対策により、営業利益は136百万円（前年同四半期は営業損失26百万円）と採算を確保することができました。

## （建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、大型物件を中心に工事の施工が順調に推移したことで、売上高は10,573百万円（前年同四半期比40.9%増）となりました。収益面では、売上高の増加に加え、事業採算の改善に向けコスト削減に努めた結果、営業利益は245百万円（前年同四半期比39.8%増）となりました。

## （その他）

その他におきましては、売上高は6,066百万円（前年同四半期比24.4%増）となりました。収益面では、橋梁用伸縮装置の売上高増加が寄与したこと、及び連結各社において採算性の改善に努めた結果、営業利益は252百万円（前年同四半期は営業損失514百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間における「資産の部」は、96,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,146百万円増加しました。これは主に民間発注の大型物件の工事が進捗し、売上債権が4,207百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、69,196百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,505百万円増加しました。これは主に大型工事物件の出来高払の増加などにより借入金が4,782百万円増加したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は27,423百万円となり、前連結会計年度末に比べ359百万円減少しました。これは主に配当を170百万円実施し、当四半期純損失を176百万円計上した結果、利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の29.6%から28.2%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成24年8月9日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

## (表示方法の変更)

前第3四半期連結累計期間において、「特別利益」の「その他」に含めていた「災害損失引当金戻入額」及び「特別損失」の「その他」に含めていた「ゴルフ会員権評価損」は、特別利益及び特別損失の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っています。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「特別利益」の「その他」に表示していた63百万円は、「災害損失引当金戻入額」34百万円、「その他」28百万円に、また「特別損失」の「その他」に表示していた26百万円は、「ゴルフ会員権評価損」5百万円、「その他」21百万円に組み替えています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	6,362	6,101
受取手形・完成工事未収入金等	33,043	37,250
未成工事支出金	696	1,385
その他のたな卸資産	646	765
繰延税金資産	17	3
その他	2,250	1,754
貸倒引当金	△217	△12
流動資産合計	42,799	47,249
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物（純額）	5,160	5,058
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,460	1,438
航空機（純額）	1,512	1,325
土地	16,985	16,964
リース資産（純額）	2,543	2,216
建設仮勘定	27	55
有形固定資産合計	27,690	27,059
無形固定資産	880	824
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	882	831
関係会社株式	19,001	18,724
長期貸付金	526	514
その他	2,379	2,223
貸倒引当金	△703	△816
投資その他の資産合計	22,086	21,477
固定資産合計	50,658	49,361
<b>繰延資産</b>		
創立費	15	9
繰延資産合計	15	9
資産合計	93,473	96,619

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	20,517	21,522
短期借入金	7,765	13,978
1年内返済予定の長期借入金	6,168	6,032
1年内償還予定の社債	160	210
未払法人税等	78	81
未成工事受入金	3,343	2,949
賞与引当金	792	354
完成工事補償引当金	94	78
工事損失引当金	2,403	1,569
損害補償損失引当金	808	789
資産除去債務	5	5
その他	3,313	2,752
流動負債合計	45,453	50,324
固定負債		
社債	275	610
長期借入金	11,557	10,263
繰延税金負債	119	102
再評価に係る繰延税金負債	1,948	1,942
退職給付引当金	3,207	3,209
役員退職慰労引当金	254	283
事業構造改善引当金	40	—
資産除去債務	142	148
負ののれん	597	566
その他	2,096	1,745
固定負債合計	20,237	18,872
負債合計	65,690	69,196
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,063	11,727
自己株式	△276	△277
株主資本合計	27,154	26,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	64
土地再評価差額金	394	383
その他の包括利益累計額合計	494	448
少数株主持分	133	156
純資産合計	27,782	27,423
負債純資産合計	93,473	96,619

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	58,561	65,473
売上原価	53,975	60,324
売上総利益	4,585	5,148
販売費及び一般管理費	4,519	4,238
営業利益	65	909
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	41	30
受取賃貸料	171	146
負ののれん償却額	31	31
貸倒引当金戻入額	330	1
その他	114	81
営業外収益合計	699	299
営業外費用		
支払利息	624	599
賃貸費用	383	366
持分法による投資損失	42	262
その他	77	43
営業外費用合計	1,127	1,271
経常損失(△)	△362	△61
特別利益		
固定資産売却益	—	3
保険差益	367	2
災害損失引当金戻入額	34	7
事業構造改善引当金戻入額	—	10
その他	28	10
特別利益合計	430	34
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	20	7
投資有価証券評価損	5	—
災害による損失	81	—
ゴルフ会員権評価損	5	13
たな卸資産評価損	43	—
その他	21	10
特別損失合計	178	31
税金等調整前四半期純損失(△)	△110	△58
法人税、住民税及び事業税	71	85
法人税等調整額	268	9
法人税等合計	339	94
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△449	△153
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△37	23
四半期純損失(△)	△412	△176

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△449</u>	<u>△153</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	△36
土地再評価差額金	264	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	<u>11</u>	<u>1</u>
その他の包括利益合計	<u>243</u>	<u>△46</u>
四半期包括利益	<u>△205</u>	<u>△199</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△165</u>	<u>△222</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△39	23

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	31,309	15,117	7,499	53,926	4,634	58,561
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	594	274	2	872	242	1,115
計	31,904	15,392	7,502	54,799	4,877	59,676
セグメント利益又は損失(△)	1,428	△26	175	1,577	△514	1,063

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,577
「その他」の区分の損失(△)	△514
セグメント間取引消去	105
全社費用(注)	△1,202
その他の調整額	99
四半期連結損益計算書の営業利益	65

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	31,874	17,324	10,556	59,755	5,717	65,473
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	692	152	16	861	348	1,210
計	32,566	17,477	10,573	60,616	6,066	66,683
セグメント利益	964	136	245	1,345	252	1,598

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,345
「その他」の区分の利益	252
セグメント間取引消去	114
全社費用(注)	△879
その他の調整額	76
四半期連結損益計算書の営業利益	909

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



## 4. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	24,770	42.3	26,061	48.7	1,291	5.2
土木	20,781	35.5	8,563	16.0	△12,218	△58.8
建築	7,356	12.6	12,027	22.5	4,670	63.5
その他	5,602	9.6	6,869	12.8	1,267	22.6
合計	58,510	100.0	53,522	100.0	△4,987	△8.5

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	31,904	53.4	32,566	48.8	662	2.1
土木	15,392	25.8	17,477	26.2	2,084	13.5
建築	7,502	12.6	10,573	15.9	3,070	40.9
その他	4,877	8.2	6,066	9.1	1,189	24.4
合計	59,676	100.0	66,683	100.0	7,007	11.7

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間末 (平成23年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成24年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	34,892	49.7	38,150	56.0	3,258	9.3
土木	27,171	38.7	20,400	29.9	△6,771	△24.9
建築	6,639	9.5	8,042	11.8	1,403	21.1
その他	1,483	2.1	1,578	2.3	94	6.3
合計	70,187	100.0	68,171	100.0	△2,016	2.9

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。